

ウォームタッチブランケット

再使用禁止

【警告】

<適用対象(患者)>

1. 血管手術中、四肢への動脈が遮断されている場合は、注意を払い、使用の中止についても考慮すること。又、虚血状態の部位には使用しないこと。重症末梢血管疾患患者に使用する際には、細心の注意を払い、絶えずモニタリングすること。

<併用医療機器>

1. ブランケットがレーザーや電気外科手術用電極(電気メス)と接触しないよう注意すること [急激に燃焼するおそれがあるため]。
2. 保温装置とブランケットは可燃性の麻酔薬の近くでは使用しないこと [爆発の危険性があるため]。
3. 本品は【使用方法等】に示した保温装置のみと使用すること [接続が外れ、患者の熱傷やその他の医療事故を引き起こすおそれがあるため]。

<使用方法>

1. 本品を使用する際には、患者の創部を覆い、本品が直接創部に触れないこと。開放創に直接熱が当たらないようにすること。
2. 保温装置は、ブランケットを接続しない状態で使用しないこと [患者の熱傷の可能性があるため]。
3. 保温装置側に何らかの作動異常が見られた場合、直ちに電源を切ること。

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止。使用後は廃棄すること。

<適用対象(患者)>

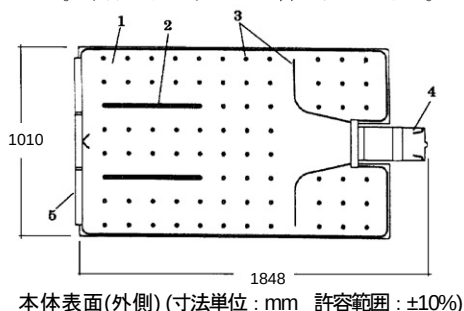
1. 粘着テープにアレルギーのある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

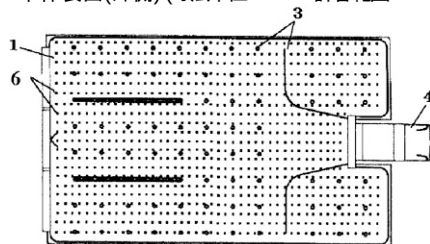
1. 形状・構造等

製品番号	名称
503-0860	カーディアックブランケット(滅菌済)

本品は保温装置と共に使用し、周術期における患者の保温を行うものである。本品にラテックスは含まれていない。



本体表面(外側)(寸法単位: mm 許容範囲: ±10%)



本体表面(患者側)

No.	名称	機能
1	カバー	保温装置から供給された暖かいエアを内部に取り込み患者を覆う。
2	スリット	本品を使用中、患者の鼠径部又は肢などにアクセスする場所に使用する。
3	接合部	本品の表面と裏面のカバー接合部。
4	ノズルカバー	保温装置からのエア供給口を覆う。
5	テープ	本品を固定するための粘着テープ。
6	エアホール	保温装置から送られた暖かいエアを出す穴。

2. 原理

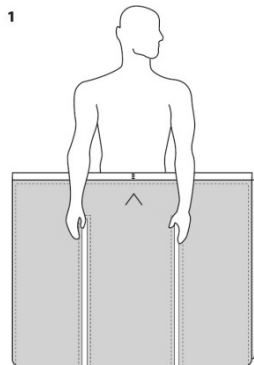
本品には、穴をあけられた下層があり、保温装置で発生する温風は、患者を暖めるために、この層の小さい穴を通り抜ける。本品の一番上の端に沿って、患者と手術台に本品を固定して、手術部位への空気の流れ込みを制限するための 3 本のテープがある。この滅菌済みブランケットは、清潔野の外側に延長できるエアインレットを有する。延長インレットには、インレット、ノズル、加温装置の未滅菌ノズルとホースを覆うのに使用できるホースシールドを含む。患者の鼠径部や足部にアクセスするためのスリットが、左右の足の位置にある。

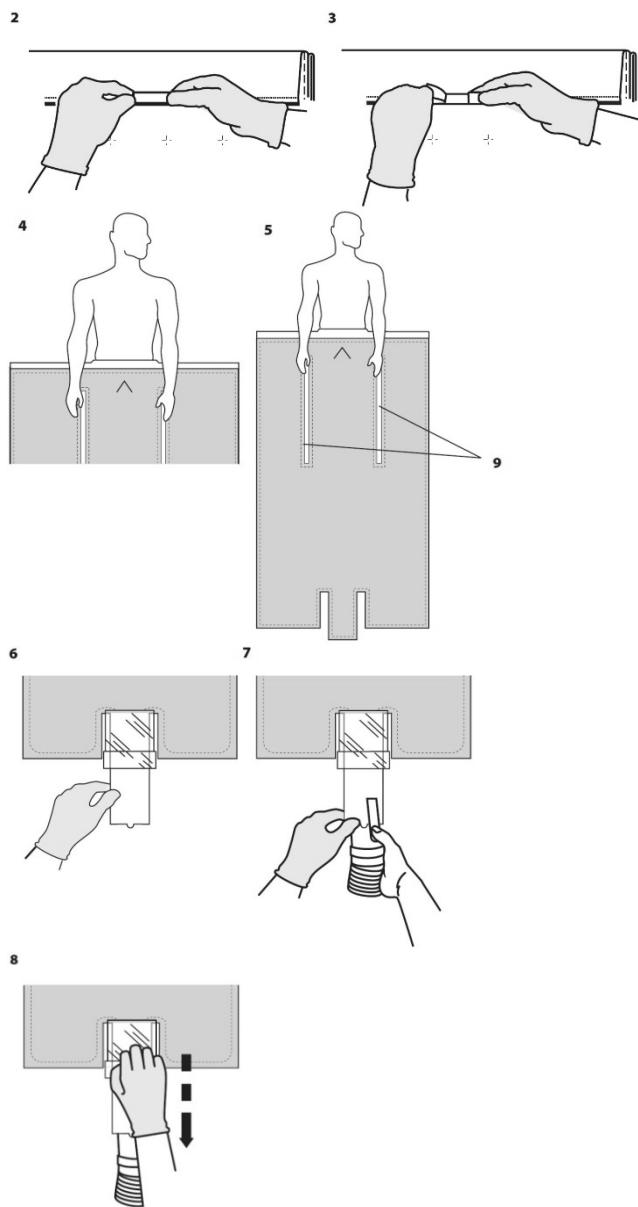
【使用目的又は効果】

保温装置(一般的名称:エアパッド加温装置システム、エアパッド加温装置コントロールユニットなど)と共に使用し、周術期における患者の保温を行う。

【使用方法等】

1. 使用前に、本品の効果を最大限に引き出すために、患者の着衣や体表面が湿っていないことを確認すること。又、粘着テープがしっかりと貼れるようオイルや残存物を拭き取り、患者の腹部の皮膚をきれいにする。
2. 本品と共に使用する保温装置を患者の足元(手術台の足元下、無菌領域外)に設置し、電源プラグを医用コンセントに接続しておく。
3. 保護パッケージから本品を注意して取り出す。
4. 本品から滅菌包装材をはがす。
5. 本品を、広げないまま、穴の開いた側が患者に触れるようにして、患者の腹部に掛ける。矢印が患者の頭部を指すようにする。矢印は、本品の中央にある(下図 1)。
6. テープの裏当てを剥がすために、本品の端でテープを折り曲げる。裏当てが見える状態にして、本品の方に向けてテープを折り曲げること。本品の端でテープを丸める(下図 2)。テープを丸めることで、テープから、裏当ての一部が分離される。裏当ての露出した端をつかんで、本品の端に沿って、裏当てを引っ張り、裏当てを取り除く(下図 3)。
7. 必要に応じて、左右両方のテープの裏当てを剥がし、患者又は手術台に貼る(下図 4)。
8. 本品を患者に合わせて広げる(下図 5)。
9. 本品インレット部を完全に伸ばす(下図 6)。
注意: 保温装置のホースと本品を接続する際は、細心の注意を払うこと。本品は滅菌済みだが、保温装置及びホースは未滅菌である。インレット開口部のタブは、ノズルクリップの右又は左に置いて、ノズルが最大限にインレットに入るようにすること。
10. 保温装置のエアホースと本品を接続する。清潔野の人が、本品インレット部のタブの先端を保持し、不潔野にいる人が、保温装置のエアホースノズルを持ち、ノズルクリップを押して、インレット開口部に挿入し、ノズルクリップを放す(下図 7)。
11. ブランケットホースカバーを引っ張り、ノズルとホースにかぶせる(下図 8)。
12. 保温装置の電源を入れて、適切な送風温度を設定する。
13. 患者の鼠径部又は肢にアクセスする場合、患者の肢に沿ってあるスリットのミシン目を丁寧に開く(下図 9)。





【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：
 コヴィディエンジャパン株式会社
 カスタマーサポートセンター：0120-998-971

外国製造業者名：
 Covidien
 (コヴィディエン)
 アメリカ合衆国

<組み合わせて使用する医療機器>

販売名	認証番号
カリマ温風加温システム	301AIBZX00015000
WarmTouch 温風式加温システム	225AABZX00060000

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 患者の着衣や体表面が湿っていないことを確認すること〔本品の性能に影響するおそれがあるため〕。
- (2) 本品使用中は、常に患者の体温及びバイタルサインをモニタリングすること。正常体温に達したら、温度を下げるか加温療法を中止すること。
- (3) 低血圧症が発症した場合は、設定温度を下げるか、使用を中止すること。
- (4) 保温装置はエアフィルターを使用しているが、使用時の気中浮遊汚染物質には注意を払うこと。エアフィルターの交換は、弊社又は取扱店まで連絡すること。交換は、資格を有するサービステクニシアが行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

高温、多湿、直射日光、水濡れを避け、室温で保管すること。

2. 有効期間

外装表示参照